

「最後のパートナー」の授業について

1 はじめに

次の2点を基本に道德の授業を考えています。

①指導書に掲載されているねらいや発問例を活用する。

②基本的な授業展開

導入 極めて簡単にする。「今日は〇〇について考えます。」程度とする。

展開前半 読み物資料は教師による範読

発問は、資料の内容を理解するための発問、資料から考える道德的価値について考える発問の2つとする。

展開後半 発問は、生活の振り返りから道德的価値について考える発問1つとする。

まとめ 振り返りをする。「今日、学習したことで大切だと思うことを書きましょう。」

2 授業展開

(1) 教材名 最後のパートナー / (2) 主題名 支え合う生命

(3) 内容項目 D-(19) 生命の尊さ

(4) ねらい 生命がかけがえのないものであることを理解し、自他の生命を尊重する心を育て、周りの人と支え合って生きること感謝する心情を養う。

(1)～(4)は指導書より

(5) 発問内容

<導入>

盲導犬を見たことがありますか。

<展開>

コラムを使って、盲導犬がどのように育てられるか確認する。

資料を読む 教師による範読

<資料からの発問>

発問1 p22 ㉔15 「もうすぐ死ぬとわかっている犬をなぜ預かるの。」と尋ねられたとき、西田さんはどんなことを考えたのでしょうか。

→ ペアで意見を交流する。

発問2 p25 ㉔17 「迷っていた私を決心へと導いてくれることになったのです。」

引退犬と関わりたくないと思っていた西田さんが、ボランティアを続けようと決心したのは、なぜでしょうか。

→ 道德ノート「かんがえてみよう」に書く。

→ 班で交流する。その後、全体で交流する。

班では必ず全員が発表する。

<生活の振り返りからの発問>

発問3 今までで、自分を支えたもらった経験や自分が誰かを支えたという経験を思い出そう。

エピソード(いつ、どこで、どんなことを)、その時の思い、今の考えを書く。

→ 道德ノート「自分に+1」に書く。

→ 班で交流する。その後、全体で交流する。

言いにくい内容もあるだろうから、発表できる人だけ。

(6) 発問内容(別案)

<導入><展開初め>は前述の通り

<資料からの発問>

発問1の前に次の内容を加える。

発問0 書かれている内容を整理します。この文章を3つのパーツに分けます。パーツとパーツの間に線を引きます。

1つ目は、最初からp22 ㉒まで、

2つ目は、p22 ㉓～p25 ㉕まで、

3つ目は、p25 ㉖から最後までです。

次のことについて考えなさい。

1つめには何が書かれていますか。

→ 盲導犬の一生

2つ目の西田さんの思いは何ですか。

→ 引退犬ボランティアを止めようかという迷い

3つ目の西田さんの思いは何ですか。

→ 引退犬ボランティアを続けるという決意

→ ペアで交流後、全体で交流する。

続いて、発問1、2を行う。

<生活からの振り返り>の発問3は行わない。

かわって、振り返り「今日、学習したことで大切だと思うことを書きましょう。」に時間を十分にとる。

→ 班で交流する。その後、全体で交流する。

班では全員が発表する。

3 授業を参観させていただいて

2(5)発問内容を少し変更した授業を見る機会がありました。「西田さん、松尾さん、ジル、ドーリー、ルイが互いに支え合っている」といった旨の話が先生からありました。本時のねらいの一つが「周りの人と支え合って生きることに感謝する心情を養う。」であることから、先生からの説明ではなく、「西田さん、松尾さん」が互いに支え、支えられているということに気づけるような発問があるといいなと感じました。

「発問3 今までで、自分を支えたもらった経験や自分が誰かを支えたという経験を思い出そう。」では、生徒たちは、どんなことを書けばよいのか戸惑う様子が見られました。こんなときは教師が自分の経験談を話すと良いと思います。また、身近な人に限らず、その人がいなくなったら自分はどうなるかを想像すれば、誰かに支えられていることが実感できるのではないのでしょうか。

精神的に支えられている場合を考えるなら、支えてくれている対象は、アイドルやペットでもいいのではないのでしょうか。

4 おわりに

ぜひ実践していただき、成果と課題を共有したいものです。